

6 ねらい

より多くの外国人に一之宮町に来てもらうために、町の魅力を伝えるプレゼンをグループで考え、名所や名物についてスピーチ面・内容面・文法面を意識して伝えることができる。

7 本時の展開 (6/8)

過程	学習活動	研究内容に関わって
つかむ	<p>1. Greeting</p> <p>2. Today's Aim</p> <ul style="list-style-type: none"> Oral Interaction を通して、本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Try to tell ALTs good points of Ichinomiya to be the No.1 presenter.</p> </div>	<p>研究内容①</p> <p>Orientation や Story の読み取りを通して、ケニアや一之宮町の抱えている課題は何かを理解し、自分たちの住んでいる地域の生活や文化を守っていくために何ができるのかを考えられるようにす</p>
見通す	<p>3. Thinking Time</p> <ul style="list-style-type: none"> プレゼン資料を確認しながら、発表内容の整理をする。 <p>4. Activity1</p> <ul style="list-style-type: none"> 一之宮町のよさについて ALT にプレゼンをする。 <p>※5種類(位山, 臥龍桜, 水無神社など)のテーマをグループごとに担当し、5人のALTにプレゼンする。</p> <p>5. Sharing Time</p> <p><グループごと></p> <ul style="list-style-type: none"> ALT からの質問や各観点からのアドバイスを各グループに持ち帰り、スピーチ方法や内容について再考する。 <p>※タブレットを使って発表している様子を映像で撮ったり、ALT から質問されたことについて調べたりする。</p> <p><クラス全体></p> <ul style="list-style-type: none"> 全体の場で、スピーチ方法や内容を高めている生徒の発表を聞き、自らの発表に取り入れる。 英語面で困っていることを交流し、発表内容の修正や改善を行う。 	<p>研究内容②</p> <p>テーマごとにグルーピングをすることで、ALT からの質問やコメントをグループに持ち帰ったときに、生徒同士でスピーチ方法や内容を高められるようにする。</p> <p>また、ALT がどの観点で生徒に質問やコメントをするのかを役割分担しておき、すべての生徒がいずれかの観点で高まりを実感できるようにする。</p>
深める	<p>6. Activity2</p> <ul style="list-style-type: none"> 修正点を踏まえて、再度同じ ALT にプレゼンをする。 ALT のコメントから自身のスピーチの高まりを実感する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【本時の終末で到達させたい姿】※波線部は高まりが見られる部分</p> <p>Look at this picture. This is Garyu-zakura in our town. It's an old cherry blossom. <u>It's about 1100 years old.</u> Do you know it? Can you see cherry blossoms in your country? In spring, we can see a full of cherry blossoms. <u>We can hold a party under it. They enjoy eating, drinking and talking.</u> They look happy. Please come to our town.</p> </div>	<p>研究内容③</p> <p>Activity1 と比較して、ALT による各観点別のアドバイスのみならず、全体的な表現方法や内容の高まり(デリバリーやストラテジーなど)を感じられるような認め・励ましをすることで、次の学びに向かっていけるようにする。</p>
まとめる	<p>7. Good Job Time</p> <ul style="list-style-type: none"> ALT が選んだ No.1 プレゼンターの発表を聞き、良さを共有する。 ※スピーチ面、内容面、文法面の3つの観点から踏まえて No.1 プレゼンターを選出する。 本時を通して、できるようになったことや学んだことなどについて、ワークシートに自己評価を記入する。 	<p>評価規準【話すこと】</p> <p>より多くの外国人に一之宮町に来てもらうために、町の魅力を伝えるプレゼンをグループで考え、名所や名物についてスピーチ面・内容面・文法面を意識して伝えることができる。</p>